



城南家保ニュース R5. 1月号

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814

EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、当所事業推進への御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

昨年は例年のない早さで高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の感染が拡大し、令和4年10月から12月の3ヶ月で**22道県51事例**の発生が確認されました。1月に入ってから発生は止まらず、油断できない状況が続いています。引き続き防疫対策をお願いします。

新型コロナウイルスにおいても第8波の流行が見られ、厳しい状況が続いていますが、一日でも早く平穏な日々が戻ることを祈るかぎりです。

本年も何卒よろしくお願ひいたします。

畜産統計・定期報告調査について

今年も家畜の飼養衛生管理状況の定期報告及び熊本県畜産統計調査の実施の時期となりました。定期報告については、家畜伝染病予防法第12条の4に基づき、家畜及び家きんの所有者は飼養状況について報告することが義務付けられています。令和2年度の法改正により、定期報告の回答すべき項目が大幅に増え、昨年度の報告において未記入の項目が散見されています。農家の皆様におかれましては、全ての項目について確認していただき、未記入がないようお願いいたします。不明な点等ありましたら、お気軽に家保まで問い合わせください。市町村や畜産団体の皆様においては、農家の方から問い合わせがあった際は、御対応をよろしくお願いいたします。



また、畜産統計も県内の畜産関係施策に役立てるための非常に重要な調査となっております。こちらについても必要事項を全て記入の上、提出をお願いします。不明な点は、地域振興局農業普及・振興課までお願いします。

今年の家保への提出期限は**令和5年2月17日(金)**となっております。集計が円滑に進むよう、御協力をお願いいたします。



アルボウイルスに注意！！

家保では毎年、6～11月にかけてアルボウイルス（異常産ウイルス）動態調査を実施しています。令和4年11月のサーベイランス検査において、県内でアカバネウイルス及びチュウザンウイルスの抗体陽転がみられ、野外感染が起きた可能性が考えられます。近年は温暖化の影響もあり、アルボウイルスの媒介生物（コガタアカイエカ、ヌカカ等）の生息域が拡大し、日本国内での発症の危険性が高くなることが懸念されます。つきましては、ワクチン等による感染防除や衛生害虫対策等の徹底をお願いします。

異常産ウイルスに妊娠母牛が感染した場合、母牛に症状はありませんが流産や死産となり、生きて生まれた場合でも奇形等により発育不良となるケースが多く、経済的損失に繋がります。異常産ウイルスによる疾病はワクチンにより予防できるので、毎年接種を行い、異常産を予防しましょう。



右：アカバネ病
中：チュウザン病
左：アイノウイルス感染症

※アルボウイルスとは

- 蚊やダニ、ヌカカ等の吸血昆虫によって媒介され、人や家畜等に感染するウイルスを総称して「アルボウイルス」といいます。
- 牛に感染症を起こすアルボウイルスとして、アカバネウイルス、アイノウイルス、チュウザンウイルス、イバラキウイルス、牛流行熱ウイルス、ピートンウイルスなどがあります。
- 吸血昆虫の行動が活発化する夏から秋にかけて流行し、牛に感染すると熱性疾患や異常産などを引き起こします。

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国	肉用アヒル（13件）	令和4年12月1日～12月31日
			種アヒル（4件）	令和4年12月3日～12月18日
			肉用鶏	令和4年12月10日
		台湾	採卵鶏（13件）	令和4年12月3日～令和5年1月2日
			地鶏	令和4年12月29日
			家きん（17件）	令和4年11月～12月
	H5N2	台湾	家きん（9件）	令和4年8月～12月
アフリカ豚熱		韓国	豚（5件）	令和4年9月18日～11月9日
			野生いのしし（73件）	令和4年9月～12月

令和5年(2023年)1月4日現在

家保職員から一言



今年度は雪が降る日が多く、例年より寒い印象です。成牛、母豚にとっては比較的過ごしやすい時期ですが、子牛や子豚では寒冷対策が必要です。カウジャケットの装着、ヒーターの使用、敷料の交換頻度増加等、対策を実施しましょう。また、鶏では鶏舎内の温度調節が難しい時期で、事故が発生しやすくなります。こまめな点検、修繕を心がけましょう！